

2011年3月期 第2四半期 決算数値のポイント

2010年11月17日

コムシスホールディングス株式会社

取締役財務部長 三又 善博



目次



1. 連結損益計算書(対前期実績比・対社内見込値比)	1
2. 連結貸借対照表	2
3. 連結キャッシュ・フロー	3
4. 補足説明資料	4
「次期経営改善のための諸施策及び負ののれんの会計処理について」		

1. 連結損益計算書（対前期実績比・対当初社内見込値比）



(単位:億円)

科 目	前期実績	当期実績	増減額	当初社内見込値	増減額	主な増減内訳
売上高	1,227	1,200	▲27	1,210	▲10	会計上のセグメント開示内容については、「第2四半期報告書」を参考願います (11月15日CHDホームページに掲載)
売上総利益	(10.8)132	(8.9) 107	▲25	117	▲10	
販売費及び一般管理費	103	90	▲13	100	▲10	
営業利益	(2.3) 28	(1.4) 16	▲12	17	▲1	
営業外収益	2	2	0	3	▲1	—
営業外費用	0	0	0	1	▲1	—
経常利益	(2.5) 30	(1.5) 18	▲12	19	▲1	
特別利益	1	4	3	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・保険返戻金(+1.5) ・負ののれん(+0.5) ・有価証券売却益(+0.4)
特別損失	2	45	43	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェア評価損(+36) ・年金基金脱退金(+5) ・有価証券評価損(+2)
四半期純利益	15	▲20	▲35	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 補足説明資料 (P-4)あり

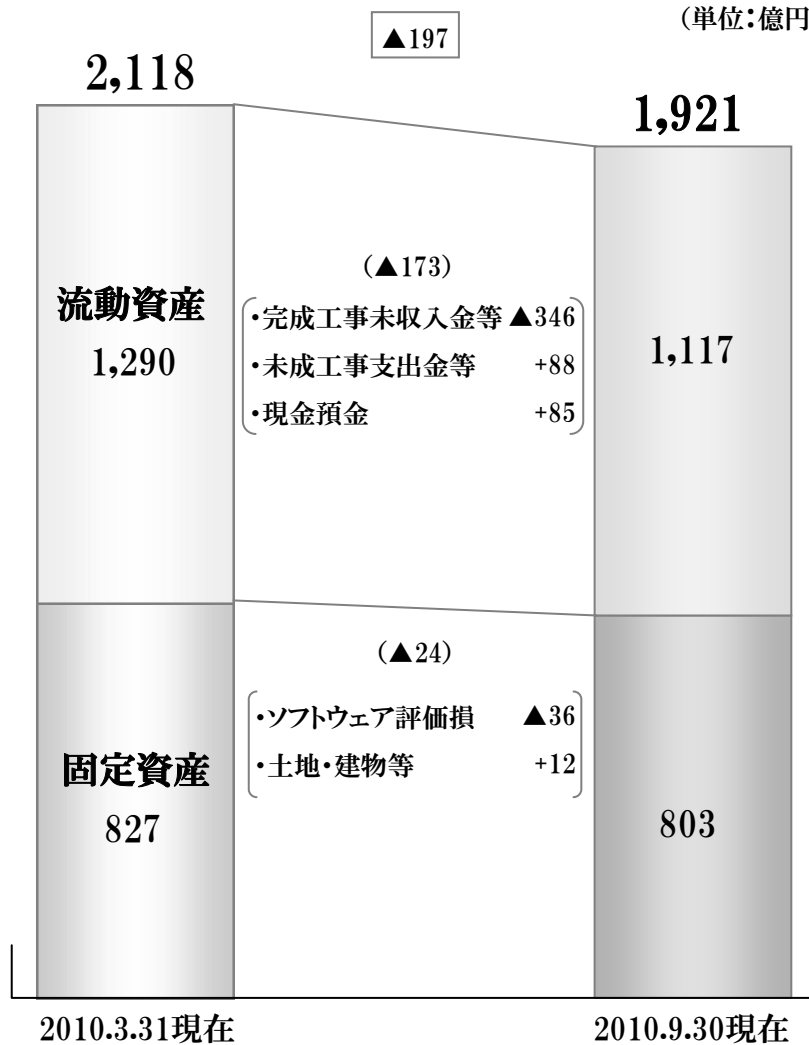
(注1) 上表()内は利益率を記載しています。

(注2) 記載金額は単位未満を切り捨てとしています。

2. 連結貸借対照表

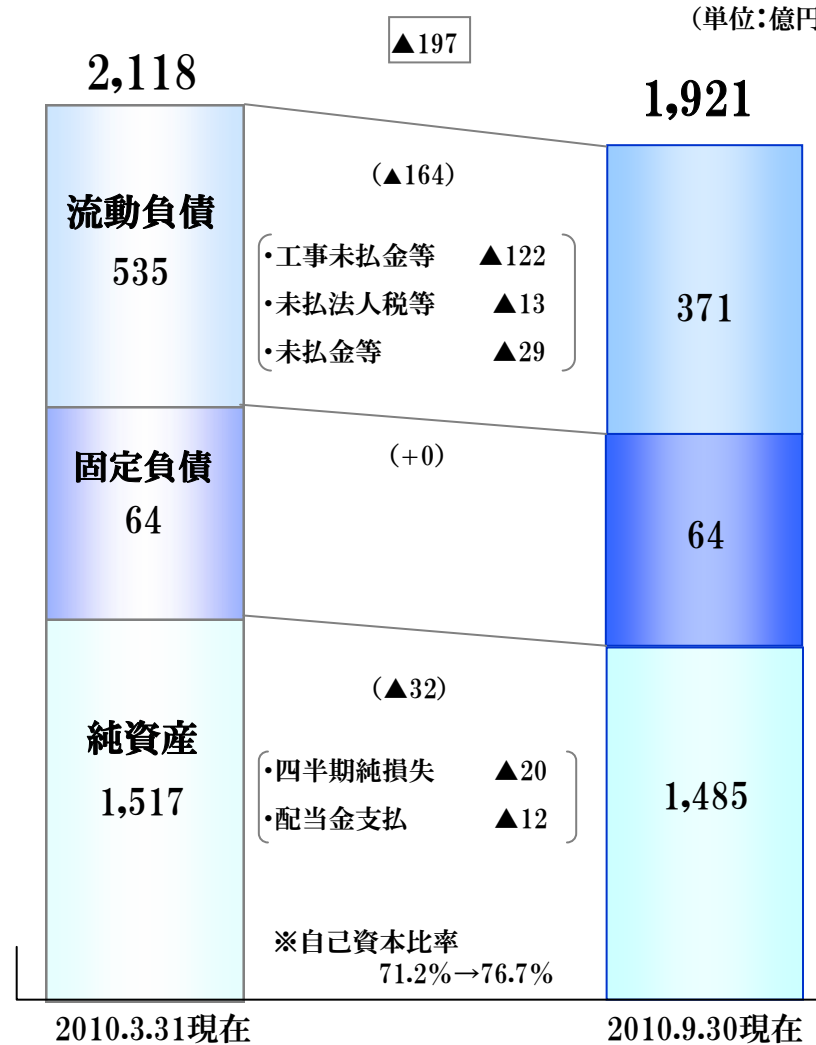
資産の部

(単位:億円)



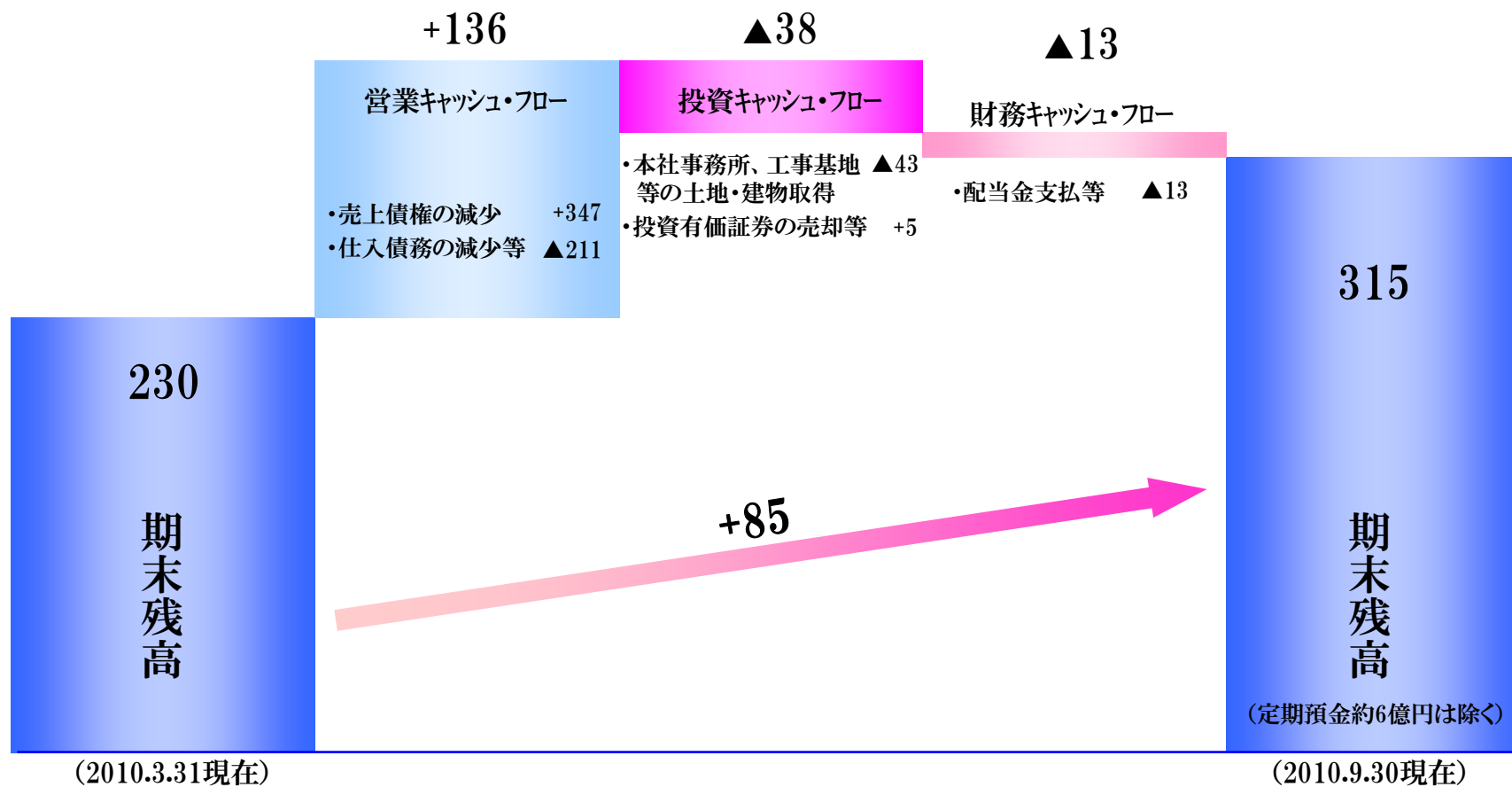
負債・純資産の部

(単位:億円)



3. 連結キャッシュ・フロー

(単位:億円)



4. 補足説明資料

「次期経営改善のための諸施策及び負ののれん」の会計処理について



施策及び負ののれん	現状と今後の考え方	特別損益計上額(金額は概算)
<p>1. 資産スリム化等による特別損失計上</p> <p>①社内システムのソフトウェア評価の見直し</p> <p>②不要遊休の土地建物の売却</p> <p>③有価証券等金融商品の評価損の計上</p> <p>④首都圏施工会社の統合に伴う年金脱退一時金の支払い (10月1日:4社を2社)</p> <p>⑤転進援助制度の見直し</p> <p>2. つうけんと経営統合に伴う負ののれん計上(特別利益)</p>	<p>・システム構築後の激的な事業環境の変化(受注・売上の激減、利益率低減、グループ子会社の大幅な再編成等)により、当初目標と現実に大幅な乖離が発生</p> <p>・つうけんへの社内システムの導入の検討開始</p> <p>・法定耐用年数で償却(5年定額:税会一致)するとの固定観念</p> <p>↓</p> <p>・財務会計上の「資産計上要件(費用削減効果)」で抜本の見直し</p> <p>・導入後2年間の費用対効果は概ね達成</p> <p>・今後は当初目標(売上高5,000億円規模、単人員削減の効果)との乖離相当額を臨時償却(会計上はソフトウェア評価損)、客観的な市場調査データ(負担率)も参考</p> <p>・工事基地局や施工会社の統廃合等により資産の使用計画の見直しが急務</p> <p>・10月1日施行のグループ税制の活用</p> <p>↓</p> <p>・中長期的観点から資産使用計画の整理 ⇒ 不要遊休となる資産の売却及び除却</p> <p>・資産維持コストの大幅な削減</p> <p>・株価低迷傾向の長期化</p> <p>↓</p> <p>50%以上下落商品に加え、30~50%下落の長期化した商品が増加</p> <p>・構造改革の一環として施工会社の二層化及び統廃合を実施</p> <p>・一社一年金制度の導入が不可欠</p> <p>↓</p> <p>・年金制度の統一(厚生年金基金の脱退、中小企業退職共済に一本化)</p> <p>・基金脱退一時金(特損)が発生するが統合効果及び年金運用の先行きを考慮</p> <p>・既存転身援助制度の廃止 → 新たな転身援助制度の導入(H23年2月予定)</p> <p>・9月末決算を踏まえ、パーチェス法(時価)に基づき両社の資産を精査中(第3四半期決算時までには確定)</p>	<p>年間38億円 (第2四半期 36億円)</p> <p>年間13億円</p> <p>年間4億円 (第2四半期 2億円)</p> <p>年間5億円 (第2四半期に計上)</p> <p>年間10億円</p> <p>年間75億円(特益一括計上)</p> <p>・連結純資産:153億円</p> <p>・株式交換取得額:64億円</p> <p>・土地評価減等パーチェス法による資産負債評価:14億円</p>